

## ■下見レポート■ <江戸まち散歩>根津遊廓跡から飛鳥山周辺を探る

本来ならば4月25日(土)に実施する予定だった<江戸まち散歩>ですが、新型コロナの影響で4月の企画は全て中止となりました。現在の感染拡大状況を考えると、東京都内を安心して歩けるようになるにはこの先数カ月かかると思われま

す。そこで参加予定だった皆さんに、3月に下見をした際に撮った写真を見て貰い、歩いた気分になればと思い纏めました。

<小島>



★日暮里駅から須藤公園に入ります。ここは加賀金沢藩の支藩大聖寺藩の江戸下屋敷跡で、明治維新後に長州出身の政治家品川弥二郎の邸宅となり、その後実業家の須藤吉右衛門に買い取られたが、明治22年に東京市に寄贈されました。



★例年ツツジ祭り行われる根津神社。この門前辺りにはかつて根津遊廓がありました。明治15年の調査では、娼妓の数は688人で吉原に次ぐ隆盛を誇っていましたが、明治20年には洲崎へ移転されました。遊廓跡の説明板は地元有志により掲示されたものですが、近くの店で聞いてやっと分かるほどで、これが唯一その存在を今に伝えるものでした。



★ここは徳川綱重の屋敷跡。団子坂にあった根津神社を、五代将軍綱吉がこの屋敷跡に社殿を造営したもの。



★八百屋お七の墓がある圓乗寺。鉄筋のビルになっており、お七の墓には似つかわしくない造りです。お七の話には諸説有りますが、井原西鶴の浮世草子「好色五人女」が元。ただ鈴ヶ森の火炙り処刑者の中にお七という名があったとも。



★赤い山門の大円寺。ここには八百屋お七の供養のための「ほうろく地蔵」がある。また道路を挟んだ墓地には砲術の指南役でもあった高島秋帆の墓があります。秋帆は現在の高島平辺りで洋式砲術演習を行ったことで知られます。



★六義園。ここは徳川綱吉の側用人の柳沢吉保が綱吉から賜った地に下屋敷を造り庭園とした場所です。入口脇のしだれ桜が有名で、この日も大勢の入園者がありました。



★西ヶ原一里塚。日光御成街道の日本橋から数えて二番目の一里塚です。碑は道路の真中にあり横断は少々危険！





★最後は王子稲荷神社。東国三十三国稲荷総司の伝承があり、落語「王子の狐」で知られる。毎年大晦日の夜、諸国の狐が社地の東、古榎のあたりに集まり装束を改めると言われ、江戸時代には狐火で有名でした。

※以上ごく簡単に紹介しましたが、旧古河庭園と飛鳥山公園を撮るのを忘れていました。一部に坂道がありますが、全体はほぼ平坦です。果たしていつになったら本番で歩けるか分かりませんが、一日も早いコロナ終息を願うばかりです。

コース：日暮里駅→根津神社→圓乗寺→大円寺→六義園→旧古河庭園→飛鳥山公園→王子稲荷神社→JR王子駅

END